

AI等を活用し、費用助成事業の審査業務を効率化・迅速化したい！

課題



- 出産に係る費用助成の審査業務を実施
- 必要書類のフォーマットが医療機関や自治体により様々であるため、審査業務に時間を要している。
- 職員が審査に入る前段階で必要書類に不備がある場合、申請者に補正依頼を出せるシステムを導入したい。

背景

- 申請者は電子申請で申請、必要書類は電子ファイル化して添付
- 必要書類は審査の際に職員が1件、1件データを開いて確認するまでは要件を満たす書類かどうか判断ができない
- 申請は電子であるものの、作業は紙を人が確認して審査していることと大差がなく効率的ではない

現場からのコメント



- 審査業務の効率化のため、申請フォームの見直しも含めて検討。
- 年間想定申請件数20,000～30,000件程度
- 審査担当者が審査に入る前段階で可能な限り書類不備を確認できるシステム等を希望

現場情報

※現場への直接のご連絡は行わないでください

福祉局子供子育て支援部
母子健康支援課
(母子医療部門)

不妊治療や出産等に係る
医療費等の費用助成